

大学院時代に「放電光」という特異な現象を世界で初めて発見、その縁で名古屋大学から最短期間で工学博士の学位が授与されました。一度は外国の大学で研究をと考えていた時に、アメリカのニューヨーク州にありますクラークソン工科大学からお呼びがかかり、客員研究員として約二年間家族で滞在をしました。二週間に一回の給料や夏時間、冬時間の経験等は初めてでした。オーロラの南限でもあり、滞在中に一回だけ夜中にオーロラを見ることができました。英会話ができ、英語での論文を自由に書けるようになったことが私にとりましては大きな財産になりました。

ポラリス *Polaris*

以来二十五年間電気電子工学科の教授として教育と研究に励んできました。この十年間で獲得できた競争的資金は二億円弱に昇り、研究室の学生も三十名（内大学院生が二十名）程でした。この中には外国人留学生も七人程おります。パソコンのイロハの知識しかない学生が、卒業時には一人前にプログラムを組めるまでに成長する姿には驚かされます。勉強でも、研究でも何事にも興味を持ち、挑戦して得た知識の吸収は早く、そんな若者の姿には惹かれるものがあります。



吉村

秋田大学にとつて

近くて遠い

秋田高校

秋田高校の学生に医学部志望が多いということは、学校評議員時代に聞かされました。将来ノーベル賞を取るほどの熱意がある学生は基礎医学の道に進み、優れた研究成果を研究科で構成され、教職員数約千四百人、学生数約五千人の総合大学です。一年間の予算は平成二十年で二百九十七億円で、大館市の一般会計予算二百八十一億円よりも多いこととなります。この他に学生が自宅外通学、いわゆるアパート生活で一年間に使うお金が三十億円程度になりますので、経済的にはかなりインパクトのある事業所と思っ下さい。附属病院の役割も

は大学間の格差はほとんどありません。本人のやる気、情熱、協調性等が大事だと思います。秋田大学出身者では初めての学長ですが、実は秋田高校出身者でも初めてです。秋田大学の舵取りをする役員にも秋田高校出身者は、新開卓理事（非常勤、前秋田銀行頭取）、渡部文靖監事（前秋田県知事公室長）、熊田亮介学長特別補佐（前教育文化学部長）他先輩、後輩が四人おります。学長に就任して三カ月が経過しました。秋田大学が魅力ある教育、研究、社会・国際貢献をすること、環境の整備を図り、快適な生活空間を形成することが私に与えられた使命と受け止めております。地域の政策、経済、環境、情報、福祉に貢献する人材養成や研究者の養成、更に秋田の高等教育機関のリーダーとして、その中心的役割を果たすことが大事と

思っております。必ずや秋田大学は変わったといえる様な知的集団を創り、見た目にもキャンパス環境が変わったという所をお見せいたします。秋田高校生がキャンパスの中を通過して通学したくなるように創り変えますので、ご期待下さい。秋田大学に入りた「と秋田高校生に言わせるような大学創りを目指します。

天上天下

「還暦」「古稀」「喜寿」「傘寿」「米寿」「卒寿」「百寿」などの表現は、いずれも人間の長寿を言祝ぐ気持ちから生まれ出たものである。平均年齢が十五歳前後であったと推定されている縄文時代から現在に至るまでの人類の歴史は、寿命を延ばすことを目的にした、疫病や自然災害などとの絶えざる戦いであったという側面をもっている。▼日本人の平均寿命が八十も半ばに達して世界一を誇っているのは喜ばしいことだが、昨今、長寿を必ずしも祝うべき方向に考えない風潮が出てきたのはゆゆしい問題であろう。主として財政面から七十五歳以上の老人をひと括りにして「後期高齢者」とする扱い方である。▼赤ちゃんとしてこの世に生を受けた人間は、等しく幼少年期・青年期・熟年期などを経て老年期に入っていく。これは人間に与えられた自然な姿であって、そこに人為的に容喙する余地はない。▼生徒に動詞の活用を教えた